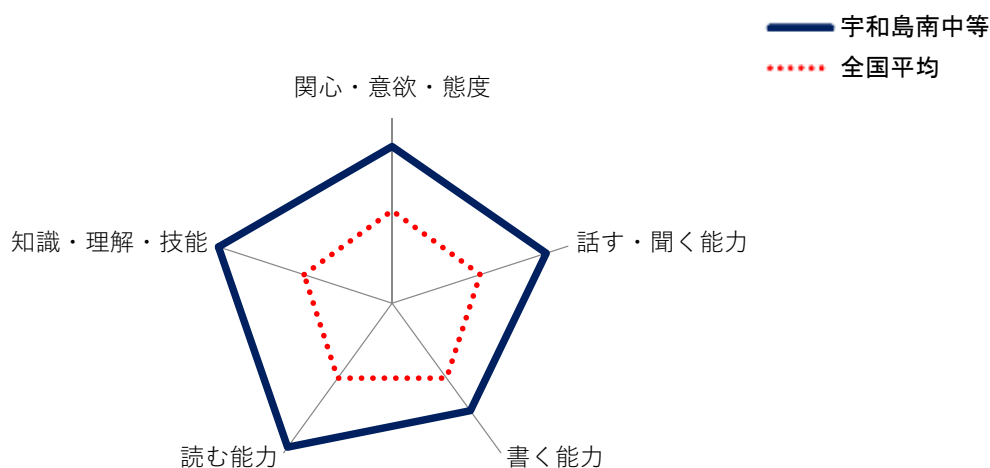


令和元年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別の特徴) 結果

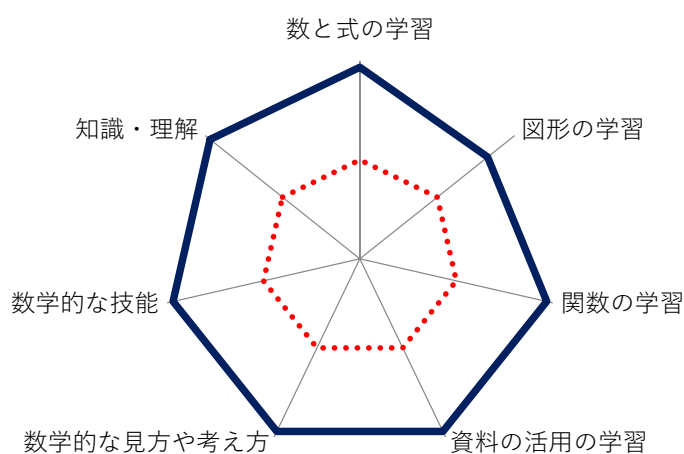
宇和島南中等教育学校

○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

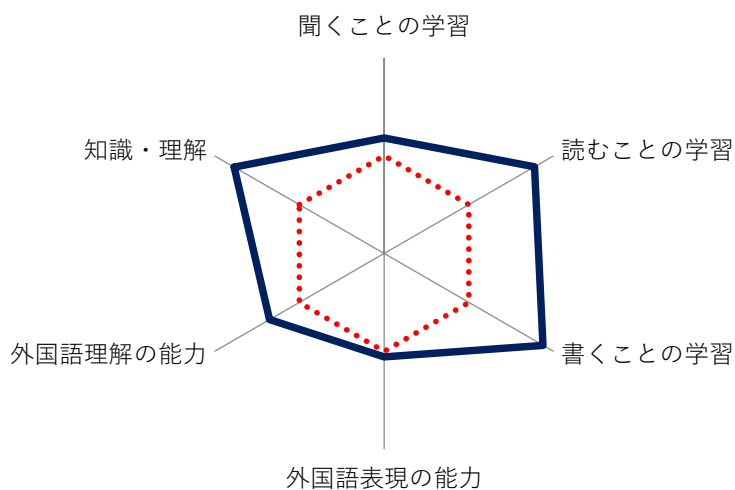
【国語】



【数学】



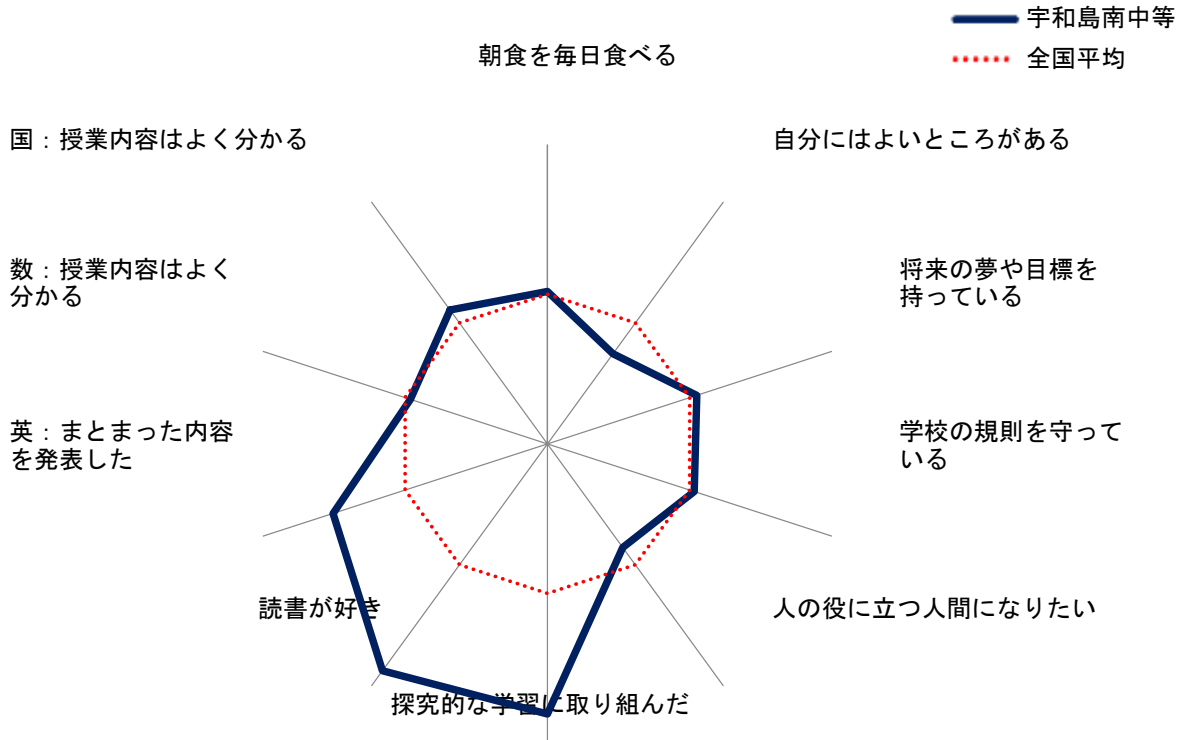
【英語】



令和元年度 全国学力・学習状況調査 (学習や生活の状況) 結果

宇和島南中等教育学校

○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

【国語】各領域に関する問題とも、平均正答率は全国平均を上回っており、概して標準以上の学力は身につけている。観点別に見ると、「知識・理解・技能」に関する問題については正答率が高いが、「書く能力」に関する問題の正答率の低さが目立つ。特に、「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」・「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ」という問題を苦手とする結果が出ている。それと関連して、「知識・理解・技能」に次いで正答率が高いのは、「読む能力」に関する問題だが、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」という問題に関しては、正答率が低い。また、「関心・意欲・態度」についても比較的低くなっている。今後は、身近な教材やICT教材を活用するなど、「関心・意欲・態度」を高める工夫をしながら、主題に沿って文章全体の構成や展開を捉え、内容を的確に把握する学習を継続し、「書く能力」につなげられるように取り組んでいく必要がある。

【数学】今回の調査では全分類、全設問の正答率とも全国平均を上回る結果となった。分類別で見ると、特に「数と式」の分類が全国正答率を大きく上回っていた。「関数」の分類の正答率も全国平均を大幅に上回っていたが、正答率は60%とまだまだ伸ばせる余地はある。本質的な理解も促せるよう、実生活での活用など、生徒が理解しやすくなる工夫が必要である。一方、「確率」の問題の正答率が全国平均を少し上回る程度であったので、更なる指導が必要である。また、記述式の問題形式では正答率が伸び悩み、無答率も高くなっている。日頃から自分の考えを書いて答える機会を増やしていきたい。さらに、解答にある程度時間がかかる問題にも根気強く取り組ませることで、読解力と記述力を身に付けられるよう今後も努めたい。

【英語】全体の平均正答率は全国平均を上回っており、標準以上の学力は身に付いている。領域別に見ると、「知識」に関する問題では、「日常的な話題について情報を正しく聞き取ることができる」・「聞いて把握した内容について適切に応答することができる」という問題を苦手とする傾向が出ている。ALTとの授業等を通して、日常の場面を想定した聞き取りを行ったり、聞くことと書くこと・話すことがつながる活動をするようにしたい。「活用」に関する問題では、「まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる」という問題を苦手とする結果が出ている。今後週末課題等を活用して、まとまりのある文章に触れる機会を増やし、説明文の大切な部分を理解できる読解力の向上に努めていきたい。

【生徒質問紙】今回の質問項目においては、「総合的な学習において探究的な学習に取り組んでいる」「読書が好き」の項目で全国平均を大きく上回った。これは、自ら課題を立てて図書館やインターネットで情報を収集し、調べたことを発表する学習に、生徒が主体的に取り組んでいることの表れである。今後とも読書を推奨し、主体的に学習に取り組みせ、学力の伸長を図りたい。一方、「自分にはよいところがある」という項目が全国平均を下回っている。今後は、生徒の個性や長所を生かした学習を取り入れたり、学校行事等において役割をもたせたりすることにより、生徒の自己肯定感を高めていきたい。